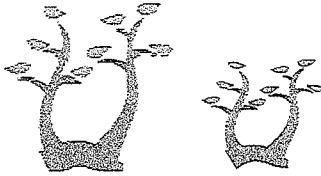


「鵜沼の緑と景観を守る会」機関紙

鵜沼の緑

12月例会・報告



発行 藤沢市鵜沼地区「鵜沼の緑と景観を守る会」

(略称:みどりの会)

事務局 代表 北村裕彦(携帯090-9836-5157)



明けましておめでとうございました

皆様がたにはお元気で新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は当会の活動に変わらずのご支援、ご協力を賜り有り難く御礼申し上げます。

昨年は東日本大震災や原発事故、台風被害など災害の多い年でありました。巨大地震や大津波といった自然災害に私たちはいかに対応すべきかを考える各種勉強会が4月以降各地区で開催されました。一方、県では新たな津波浸水予想図の素案を公開しましたがその結果浸水範囲が大幅に広がった地区が出現しました。そのため沿岸市町から避難ビル選定場所の変更、避難タワー設置の検討など建物の高さ制限の変更要望が出てまいりました。皆様ご存知の通り私たちの住む「鵜沼地区」では風致地区指定により沿岸や風致地区内の建物の高さの制限などを定めることにより良好な風致景観を長く守ってまいりました。また、海岸には黒松の植栽を行い見事な海岸林を作り上げてきました。海岸林は津波の勢いを弱め船や家屋の流出を食い止める効果があります。私どもの会では毎年の公民館祭りに黒松の苗を無償配布してまいりましたが今年は海岸林再生の動きに合わせ鵜沼海岸一帯に黒松植栽事業を展開したいと考えております。具体的な構想が纏まり次第会員の皆様にお知らせいたしますがその節にはどうか絶大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成24年 元旦

代表 北村裕彦

12月例会および学習会報告

12月例会および学習会は12月18日(日)15時から鶴沼公民館で行われました。出席者16名。学習会の講師は斎藤健夫会員(県議)、主に県会の現状について話してもらいました。恒例の「高木ふれあい荘」の清掃は同日9時半から、参加者は4名。

12月例会報告

司会：古山幹事 書記：佐藤幹事 北村代表より報告

1 湘南みどりの会「文化と歴史探訪」

従来は年に1回地引綱をやっていましたが、新会長の新村さんが会の活性化をはかりたいと「親子のまち歩き」を企画されました。当みどりの会に協力要請があり、北村代表と中島幹事が担当しました。

実施日：11月23日 参加者：43名プラス7名(当会員3名)

当日は好天に恵まれ、長いコースにも関わらず皆さん最後まで歩き通しました。参加者は「親子連れ」ということで募集したところ、意外に夫婦連れが多かったそうです。中島幹事がコース地図と見学ポイントを用意、北村代表が最後のポイント賀来神社の由来を説明しました。今回のまち歩きは大好評でまたやってほしいという声が多かったそうです。

2 第10回湘南邸宅文化ネットワーク協議会シンポジウム

先月の会報でお知らせしましたが、当会からは7名が参加。次のような報告がありました。

日時 12月4日(日) 13時~17時半

会場 まち歩きをして鎌倉宮「大平殿」

テーマ 「湘南の邸園の新しい利活用・管理運営方法を提案する」

司会 後藤治さん(工学院大学教授)

パネリスト たなか牧子さん(カジュ・アート・スペース) 古民家で染色家活動、他
赤松加寿江さん(西御門サローネ) 旧里見弾邸を借りて、設計事務所を運営、新しい文化創造のサロンとして活用

柴崎由紀さん(銀の鈴ギャラリー) 古い商家を活用して児童書等の編集、他
櫻井雅之さん(亀時間) 材木座で古民家をゲストハウスとして改築・運営、他

<参加者の感想>

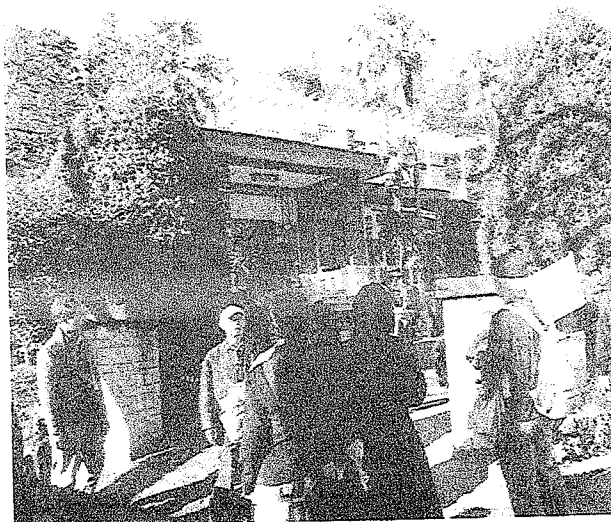
*西御門サローネ(旧里見弾邸)…広い庭と邸宅をそのまま保存し、コンサートや講習会、撮影会をやっているそうです。

鶴沼にもほしい、羨ましかった。

*材木座 亀時間…ゲストハウスの利用は1泊3000円くらい。主に若者、外国人対象。

*地元の方がまち歩きで鎌倉の路地裏を案内してくれました。(旧大佛次郎邸など)

全体的にさすが鎌倉らしい企画という印象を受けました。



西御門サローネ(旧里見弾邸)

3 藤沢市市民活動推進センター開館10周年記念 講演とパネルセッション

内容は先月の会報でお知らせした通りです。パネルセッションについては当会も12月19日までに参加を申込みました。期日は12月23日(金)13時から。会場は市民会館・第二展示集会ホールです。当みどりの会の日常活動を紹介します。

4 湘南藤沢文化ネットワーク

すでに、このネットワーク主催のまち歩きは11月19日(土)第4回を終えました。このまち歩きはレディオ湘南で紹介され、その活動内容について日本大学から問い合わせがあったそうです。第5回まち歩きは3月に予定され場所は藤沢宿だそうです。

5 その他

- K会員の話。Kさん宅の裏地一帯が開発され、あっという間に松が伐採されてしまったそうです。あの辺り一帯は風致地区にかかっておらず、保存樹林になっていましたが、所有者が契約すれば法的拘束力はないということです。
- 当会員で五友会の方が隣地の開発について、請負った建設会社に問い合わせしたら五友会で締結した「住民協定」は十分に承知しているということでした。「住民協定」の力を実感したそうです。
- 千鳥桜の苗木が根室から藤沢へ寄贈されることについて、会員の八幡さんが12月19日にいよいよ根室に向けて出発します。藤沢市と育桜会の関係者が同行する予定です。なお藤沢育桜会からは根室市に「エソヤマザクラ」の苗木100本が贈られるとのこと。

学習会

例会にひき続き16時から学習会が行われました。

災害に対する県の対応を中心に

講師：斎藤健夫氏(当会員・県議)

斎藤さんにはお忙しい中、災害に対応する多くの資料・地図を準備され、予定した時間いっぱい説明や質疑応答にに応じていただきまして感謝いたします。以下、資料をもとに、その概要をお知らせします。



2011・12・18

- 1 建設常任委員会報告資料(抜粋)より
まず、今回検討の対象となった過去の地震・津波の一覧を取り上げ、その中から特に鵠沼地区に関係するものとして、慶長型地震(1605年)について説明がありました。これは江戸時代初期に発生したもので、断層タイプでいうと「海溝型・南海トラフ」。湘南海岸東部(藤沢市)での津波高は10・5m、最大波の到達時間は72分だったそうです。
- 2 この慶長型地震をもとに浸水範囲、浸水深の情報を示した「津波浸水予測図(素案)」を作成しましたが、これを見ると確かに他の地震型(明応型・南関東・)よりは浸水範囲が広く、内部まで達していることが分かります。

3 「今後の海岸保全施設等の整備についての考え方（素案）」によると、

㊦設計津波の選定として、今後の海岸整備にあたっては、最大クラスの津波ではなく、概ね数十年から百数十年に一回程度発生する規模の津波を設計津波とする。

㊧海岸保全施設等の設計水位の決定について、高潮により決定される水位と比較し、いずれか高い方をとするのを原則とし、この水位を前提に海岸の利用や景観、環境、経済性、維持管理の容易性など考慮して決定する。この㊦と㊧の事項、当みどりの会として注意して今後を見守る必要があります。

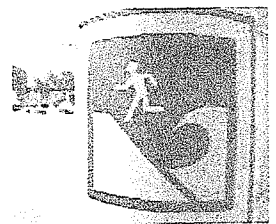
4 津波避難タワー設置について

県はこの度、鵠沼海岸の県立湘南海岸公園内に、津波から一時的に避難する「津波避難タワー」を設置すると発表しました。（12月8日付各紙）これによりますと鉄骨造り、やぐら形式。上部に100人程度が避難できる約50㎡のステージ。このステージは藤沢市が想定した10・5mの津波に2mの余裕を加えた12・5mの高さのもの。県はこの関連費用として3500万円を含めた補正予算を議会に提出し12月の議会で可決しました。

<これに対して、例会出席者から多くの反対意見が出ました。その主なものを挙げます>

- ① すでに県と市でこの鵠沼海岸の景観をぶちこわすような箱モノは建てないという合意がある。100人程度の避難場所を作っても後から来る人をどうするのか。蜘蛛の糸じゃあるまいし。
- ② これは子ども連れや老人向ではない。むしろ避難放送を徹底すべきである。
- ③ 今の市民センターを建て直し高層化した方がよい。
- ④ 海岸に松林（樹林帯）を再生する。（松をオーナー制にして名札を付けるなども）

県がモデルケースとして建設した上で今後、海岸市町が参考とする、との事です。



5 建設常任委員会（平23・12・12）での都市計画課長の答弁要旨

建設常任委員の津波浸水予想図を受けて、次のように答弁しています。（一部のみ）

『・・・本県の沿岸地域では高さの制限を定めることによって良好な風致・景観を守ってきた実績もありますので、そういった観点と人命を救うという新しい重要な観点について、どのような折り合いをつけていくのか。・・・そういったことについて各市町が地域特性を踏まえて、地域住民のコンセンサスを得ることが大変重要になると考えております。』このことは明らかに規制緩和を考えているように見えます。鵠沼の風致地区が縮小するのか、あるいは拡大するのか、首長の判断力が問われますが、当みどりの会としても十分見守っていく必要があると思います。

♡1月日程のお知らせ♡

編集会議	1月6日（金）10:00～
広報印刷	1月7日（土）15:00～
高木ふれあい荘清掃	1月15日（日）10:00～
例会	1月15日（日）15:00～
懇談会	16:00～
○邸清掃	1月18日（水）9:30～
幹事会	1月28日（土）10:00～

☆編集係よの☆
昨年は東日本大震災に見舞われ大変な一年でした。同時に津波対策に追われた年でもありました。嬉しいニュースとしては、五友会に住民協定が結ばれたことです。今年他自治会にもひろがるよう、当みどりの会として、しっかり絆を結んでいきたいと願っております。